

平成30年7月17日
大臣官房官庁営繕部整備課

技術の結晶 他の模範に ～更なる品質向上へ 優良な工事や技術者を表彰～

国土交通省は7月17日、平成30年度優良工事等表彰の表彰式を開催し、今年度の受賞者として工事3件、業務2件、技術者5名を表彰しました。

○ 官庁営繕部では、技術・品質の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的として、前年度に完了した工事及び設計等の業務の中から、その施工及び成果が優れているもの、他の模範とするにふさわしいもの選定し、官庁営繕部長より表彰しています。

なお、表彰実績については、大臣官房官庁営繕部等が発注する工事の総合評価落札方式及び設計等の業務のプロポーザル方式等における評価項目の一つとして加点しています。

○今年度の受賞者一覧

表彰種別	請負者名等	工事・業務名
優良工事	高砂熱学工業株式会社	経済産業省総合庁舎別館改修（16）機械設備その他工事
	株式会社ユアテック	中央合同庁舎第5号館改修（16）電気設備工事
	日本電設工業株式会社	国立国会図書館東京本館改修（16）電気設備工事
優秀工事 技術者	高砂熱学工業株式会社 【現場代理人兼監理技術者 上斗米 和史】	
	株式会社ユアテック 【現場代理人 横田 悟志】【監理技術者 蛭田 文史朗】	
優良業務	株式会社伊藤喜三郎建築研究所	中央合同庁舎第4号館耐震改修（13）建築工事監理業務
	株式会社松田平田設計	参議院新清水谷議員宿舎新築（16）設計業務
優秀技術者	株式会社伊藤喜三郎建築研究所 【管理技術者 野中 純一】	
	株式会社松田平田設計 【管理技術者 渡邊 一隆】	

（表彰式）

日 時：平成30年7月17日（火）13：30

場 所：官庁営繕部会議室（中央合同庁舎第2号館13階）

（選定理由）

添付資料：別紙

【問い合わせ先】国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室

課長補佐 松田（内線23613） 情報管理係 菅野（内線23534）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8238 FAX：03-5253-1544

大臣官房官庁営繕部発注工事等における平成30年度 優良工事等表彰選定理由書 <工事>

表彰種類	受賞者	選定理由
《優良工事表彰》	<p>工事名：経済産業省総合庁舎別館改修（16）機械設備その他工事 受賞者：高砂熱学工業株式会社</p>	<p>本工事は、空調機、ダクト、配管、関連する動力設備及びダクトが通る廊下天井の更新を庁舎を使用しながら行う改修工事であり、工事における騒音等により、業務に支障がないよう施工することが求められた。</p> <p>受注者は、入居者の業務に支障をきたすことなく工事を進めるため、<u>施設管理者と工事内容や施工範囲に関して綿密に調整を行い、きめ細かい工程計画を作成し、的確な施工を行った。</u></p> <p>また、空調機の更新においては、<u>BIMを活用した3次元での施工検討を行うとともに、VR (Virtual Reality)を用いて、機械室内の仮想空間を自由に歩き回ることにより、メンテナンス性の確認と詳細な施工手順の検討を行い、それらを実施することにより、狭隘な機械室での施工品質の向上に寄与した。</u></p>
	<p>工事名：中央合同庁舎第5号館改修（16）電気設備工事 受賞者：株式会社ユアテック</p>	<p>本工事は、分電盤・照明制御盤・電気中央監視装置 RS 盤・無停電電源装置の更新を、庁舎を使用しながら行う改修工事であり、部分停電を要するため、盤・装置自体の撤去・新設作業は閉庁日に限られた。</p> <p>受注者は、入居者の業務に支障をきたすことなく工事を進めるため、<u>施設管理者と停電範囲や仮設電源の有無などを事前調整し、きめ細かい工程計画を作成し、的確な施工を行った。</u></p> <p>また、閉庁日という限られた時間での作業を行うため、<u>短時間での更新・切り替え及び試験・性能確認が出来るよう施工計画を立案し、それらを実施することにより、施工品質の向上に寄与した。</u></p>
	<p>工事名：国立国会図書館東京本館改修（16）電気設備工事 受賞者：日本電設工業株式会社</p>	<p>本工事は、分電盤とその電灯幹線ケーブルの更新を、施設を運用しながら行う改修工事であり、部分停電を要するため、盤・機器自体の撤去・新設作業は閉館日に限られた。</p> <p>受注者は、図書館としての業務に支障をきたすことなく工事を進めるため、<u>工事内容や停電範囲などを、わかりやすい資料を用いて施設管理者に丁寧に説明し、理解を得ることにより、きめ細かい工程計画を作成し、的確な施工を行った。</u></p> <p>また、電力幹線の更新に当たっても、<u>閉館日という限られた時間での作業を行うため、更新範囲の分割化などを適切に設定し、十分な試験・性能確認が行えるよう施工計画を立案し、それらを実施することにより、施工品質の向上に寄与した。</u></p>

大臣官房官庁営繕部発注工事等における平成30年度 優良工事等表彰選定理由書 <工事>

<p>《優秀工事技術者表彰》</p>	<p>工事名：経済産業省総合庁舎別館改修（16）機械設備その他工事 職名：現場代理人兼監理技術者 受賞者：高砂熱学工業株式会社 上斗米 和史</p>	<p>本工事の現場代理人兼監理技術者は、事前調査を入念に行い、<u>工事着手前から施設管理者に対して、工事内容や工事工程に関する詳細な資料を用いて丁寧に説明を行った。</u> また、<u>狭隘な機械室での施工に当たり、BIMやVR（Virtual Reality）を活用した、3次元化の施工図を作成し、詳細な施工計画を立案し、それらを実施することにより、高い施工品質のみならず、将来の良好なメンテナンス性の確保に寄与した。</u></p>
	<p>工事名：中央合同庁舎第5号館改修（16）電気設備工事 職名：現場代理人 受賞者：株式会社ユアテック 横田 悟志</p>	<p>本工事の現場代理人は、事前調査を入念に行い、<u>施設管理者と停電範囲や仮設電源の有無などを事前調整し、的確な工程調整を行った。</u> このような、<u>適切な施設管理者との調整を行うことにより、工事全体の円滑な運営を行い、庁舎の業務に支障をきたすことなく工事を完成させた。</u> また、<u>設計図書と施工内容との確認を十分におこなうとともに、適切に発注者への施工報告が行われており、これらの書類管理も適切に整理されていた。</u></p>
	<p>工事名：中央合同庁舎第5号館改修（16）電気設備工事 職名：監理技術者 受賞者：株式会社ユアテック 蛭田 文史朗</p>	<p>本工事の監理技術者は、工程管理、安全管理、品質管理など、技術的な事項について中心的な役割を果たし、専門工事業者に対し、適切な指導を行った。 特に、<u>改修工事において重要な既設の状況調査を行うとともに、詳細な施工手順、試験方法、停復電制御方法を十分に検討した施工計画を立案した。</u> この<u>施工計画書に基づいて、施工周知会において作業員に対し適切に指導を行うことにより、良好な品質と安全の確保を行った。</u></p>

大臣官房官庁営繕部発注工事等における平成30年度 優良工事等表彰選定理由書 <業務>

表彰種類	受賞者	選定理由
《優良業務表彰》	<p>業務名：中央合同庁舎第4号館耐震改修（13）建築工事監理業務 受賞者：株式会社伊藤喜三郎建築研究所</p>	<p>本業務は、中央合同庁舎第4号館耐震改修（基礎下免震改修）の工事監理業務である。 <u>受注者は、工事中の懸案事項に対して施工者と入念な調整を行うとともに、適切に発注者への報告を行った。</u> <u>具体的には、工事中の耐震安全性の確保にかかる調整や内容の確認、擁壁の杭新設にかかる管理方法の提案や免震装置の性能確認方法の検討などに積極的に対応した。またエキスパンションジョイントなどの可動域に対する施工図上での詳細な確認と検討を行うことにより、施工品質の向上に寄与した。</u></p>
	<p>業務名：参議院新清水谷議員宿舎新築（16）設計業務 受賞者：株式会社松田平田設計</p>	<p>本業務は、参議院清水谷議員宿舎の新たな施設ニーズに対応した新議員宿舎整備を行うための設計等を行った業務である。 <u>受注者は、風致地区、地区計画、景観条例などの制約や敷地条件が厳しい中で、会社を挙げて設計に取り組むことにより、高品質の設計を実施した。</u> <u>特に、高低差の大きい敷地形状に配慮した合理的な平面計画とし、工事工程をⅠ期工事とⅡ期工事に分けることで、新議員宿舎へ早期の入居を実現させた。</u> <u>また、敷地内に「公開空地」を設けることにより、周辺の豊かな環境と連続性をもたせた設計とし、紀尾井町地区における「四季と風景創り」に寄与した。</u></p>
《優秀技術者表彰》	<p>業務名：中央合同庁舎第4号館耐震改修（13）建築工事監理業務 職名：管理技術者 受賞者：株式会社伊藤喜三郎建築研究所 野中 純一</p>	<p>本業務の管理技術者は、業務全体のマネジメント役として、<u>施工条件の変更に関わる情報の把握及び工事現場の状況の確認に関し中心的役割を果たし、工事の円滑な進捗及び品質向上に大きく貢献した。</u> <u>工事中の耐震安全性の確保については、免震仮受け時の仮設計画に当たって、設計内容を十分把握した上で高度な技術力を持って施工者と綿密な調整を行い、施工品質の向上に寄与した。</u> <u>また長期にわたり適切な人員配置が可能になるよう社内体制の構築を図った。</u></p> <p>本業務の管理技術者は、業務全体のマネジメントの要として、<u>多くの条例等の制約や敷地条件が厳しい中で集合住宅や関係条例等に関する自らの知見を生かし、実現性のある提案を行った。</u>また、自社の組織力を最大限活用し、<u>強いリーダーシップをもって業務に取り組むことにより、高い品質の設計を実現させた。</u></p>